

# 仕様書

イノベーション戦略センター

## 1. 件名

2025 年度 IT サービス、ソフトウェアとキーテクノロジー製品等に関する国際市場動向調査

## 2. 目的

NEDO イノベーション戦略センターでは、今後のイノベーション戦略の策定に向けたテーマ抽出のため、エネルギー・環境分野及び産業技術分野においてイノベーションを起こすべき領域を特定する **Innovation Outlook** の策定に取り組んでいる。その際、エネルギー・環境分野及び産業技術分野を取り巻く政策・市場・技術に関する情報を俯瞰的に収集し、これをバックキャスト型アプローチとフォアキャスト型アプローチで分析することにより、研究開発プロジェクトによる解決が必要な課題を選定してイノベーション戦略を策定することとしている。

本調査では、市場に関する動向調査の一環として、近年重要性がますます高まっている IT サービス、ソフトウェアと代表的なキーテクノロジー製品等について、「将来市場予測調査」、「新興市場に関する調査」等を行う。

## 3. 内容

上記目的を達成するため、以下の項目について情報を調査する。なお、調査の対象製品の選定等にあたっては、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」を参考にし、実施に当たっては NEDO と協議の上で決定することとする。

### 3-1 IT サービス、ソフトウェアの国際市場動向調査

#### (1) 将来市場予測調査

代表的な IT サービス及びソフトウェア製品について、将来（2030 年および可能であれば 2035 年）の世界市場規模を予測する。予測結果は、製品別シートとともに、グラフ化等によって視覚的に把握しやすい形式で提出する。

調査する IT サービス及びソフトウェアの選定にあたっては、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」（2）の P.4「俯瞰的な IT サービス及びソフトウェア」、および P.5, 6「分野限定の IT サービス及びソフトウェア」に示す項目を基準とし、調査の実施に当たっては NEDO と協議の上で決定することとする。

市場規模予測の前提条件を付記する。

世界市場規模は日本円に換算し、換算時に使用した為替レートを明記する。金額ベースの推計が困難な場合は、それに代わる有効な指標に置き換えても良い。世界市場規模の把握が困難な製品においても、国内市場規模を推計することが望ましい。

#### (2) 新興市場に関する調査

IT サービス及びソフトウェア製品市場において、新たに市場に登場あるいは将来の著しい成長が期待される有望製品や産業政策上の重要製品等、今後、新規に日系企業の国際競争ポジションに関する情報を収集すべ

き製品について、市場規模や主要企業等を調査する。

調査する IT サービス及びソフトウェアの選定にあたっては、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」(2) の P.4「俯瞰的な IT サービス及びソフトウェア」、および P.5, 6「分野限定の IT サービス及びソフトウェア」に示す項目に類似しているが含まれていない製品について、統計資料や文献・書籍等（インターネット情報を含む）の分析、調査実施機関が独自に保有する各種既存データベースの活用、各製品市場への参入企業や関連業界団体／協会に対するインタビュー調査等、あるいは NEDO からの要望を踏まえて選定する。報告の際には、その選定理由を記載する。

調査製品の決定にあたっては、NEDO と事前に十分協議を行うこと。

### 3-2 キーテクノロジー製品の国際市場動向調査

#### (1) 将来市場予測調査

##### ① 将来市場予測調査

代表的なキーテクノロジー製品の、川下製品（最終製品）、及び、それらを構成する川中製品（中間製品）・川上製品（部素材等）について、将来（2030 年および 2035 年）の世界市場規模を予測する。予測結果は、製品別シートとともに、グラフ化等によって視覚的に把握しやすい形式で提出する。

調査するキーテクノロジー製品の選定にあたっては、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」(1) の P.21～25 に示す項目を基準とし、調査の実施にあたっては NEDO と協議の上で決定することとする。

市場規模予測の前提条件を付記する。

世界市場規模は日本円に換算し、換算時に使用した為替レートを明記する。金額ベースの推計が困難な場合は、それに代わる有効な指標に置き換えても良い。世界市場規模の把握が困難な製品においても、国内市場規模を推計することが望ましい。

##### ② 利益率に関する可能性調査

代表的なキーテクノロジー製品の、直近（2024 年）の利益率実績の推計の可能性について調査する。可能な製品については、実際に利益率を推計する。推計方法については、NEDO と協議の上決定することとする。

#### (2) 新興市場に関する調査

キーテクノロジー製品市場において、新たに市場に登場あるいは将来の著しい成長が期待される有望製品や産業政策上の重要製品等、今後、新規に日系企業の国際競争ポジションに関する情報を収集すべき製品について、市場規模や主要企業等を調査する。

調査するキーテクノロジー製品の選定にあたっては、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」(1) の P.21～25 に示す項目に類似しているが含まれていない製品について、統計資料や文献・書籍等（インターネット情報を含む）の分析、調査実施機関が独自に保有する各種既存データベースの活用、各製品市場への参入企業や関連業界団体／協会に対するインタビュー調査等、あるいは NEDO からの要望を踏まえて選定する。報告の際には、その選定理由を記載

する。

調査製品の決定にあたっては、NEDO と事前に十分協議を行うこと。

### 3-3 加工サービスの国際市場動向情報収集に関する可能性調査

モノづくりにおける加工サービス（役務）市場において、日系企業の国際競争ポジションに関する情報を収集するために、対象とすべき加工サービス（役務）分野、収集可能な項目、収集可能な国・地域、およびその情報収集方式・方法について調査する。

以下は加工分野の例であるが、これに限るものではない。

- 機械加工、金属加工、板金加工、CNC 加工、精密加工、プラスチック加工、3D プリント 等

## 4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2025 年 12 月 26 日まで

## 5. 予算額

500 万円以下

## 6. 報告書

提出期限：2025 年 12 月 26 日

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

※報告書の仕様については、別途指示することがある。

※調査報告書においては、データの出典を明らかにするとともに、データの算出方法や推計方法についても明らかにすること。また、インタビュー調査等の記録についても併せて報告すること。

## 7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

## 8. その他

(1) 部分提案については以下の組み合わせのみ可とする。

- ① 3-1 全体
- ② 3-2 全体
- ③ 3-1 (1) および 3-2 (1)
- ④ 3-1 (2) および 3-2 (2)
- ⑤ 3-3

(2) 本仕様書に定めなき事項については、NEDO と実施者が協議の上で決定するものとする。

以上